

土壌診断 基礎ガイド

今月は「pH&EC について」

pH

pH の値が低い酸性、高いとアルカリ性を指します。

一般的な適正值は 6.5 程度です。6.5 以上になると微量元素が土壌中で溶解しにくくなり欠乏することがあります。

作物別に最適な pH 範囲になるよう施肥することをおすすめします。

【サトウキビ】 6.0 ～ 6.5 【バレイシヨ】 5.5 ～ 6.0



EC

EC(Electrical Conductivity)は日本語で電気伝導度といい

土壌中の塩類濃度の目安となります。

値が高いほど土壌中の硝酸態窒素が多いことを示し

土壌中の窒素濃度が高くなると、根が水分を吸収できなくなるなどの

障害を起こすことがあります。人間も土も塩分の摂り過ぎは大敵です。

一般的な適正值は 0.03~0.08 s/cm です。

栽培途中などで pH と EC の値を合わせて判断することにより、土壌の状態を推定することができます。生産現場で作物の生育が停滞している、葉に異常が認められるなど、何か問題があった時でも、pH、EC を測定し迅速な判断の一助になります。

高 pH・低 EC 微量元素が欠乏しやすい 原因：石灰が多い →硫酸系の肥料施用		高 pH・高 EC 葉が濃緑色 原因：肥料過多 →無肥料栽培の実施
	適正範囲(作物により変動) pH 5.5~7.0 EC 0.03~0.08	
低 pH・低 EC 葉が淡色、生育遅れ 原因：肥料不足 →肥料・推肥施用		低 pH・高 EC 葉が濃緑色 原因：窒素肥料過剰 →多灌水栽培